



Bベテル通信

2020年7月号 (第204号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel.089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

ボランティアの再開を待って



新型コロナウイルス感染症の影響で、今年の大相撲春場所は無観客で開催されました。時に子供たちの黄色い声の混じる大歓声や、金星を挙げたときに座布団が舞う様子もなく一番一番淡々と取り組みが進められていきました。整然としてはいます。ただ、大変物足りない。テレビを見ていると全然盛り上がらない。プロ野球も、ようやく開幕しましたが、これも当分は観客を入れないとか。力士たちも野球選手たちも、観客の声援を浴びてこそ本領発揮でき、声援に後押しされて時には実力以上の力を出せるというものです。

この、得体のよくわからないウィルスの感染症によって、ベテル病院でも創立以来初めてボランティア活動を中止しました。黄色いエプロンのボランティアさんの姿も、患者さまのご家族の姿も見られず、どこも閑散としていました。

ホスピス病棟のお茶会でボランティアさんたちとの楽しい語らいの時、チャペルでコーラスや三味線、オカリナなどの演奏に耳を傾ける時、ボランティアさんたちと一緒に昔口ずさんだ懐かしい歌を次々と歌う時、ベランダで季節の花が咲いた時・・・そんな一瞬一瞬に患者さまたちの笑顔が輝きます。私たちスタッフは、その患者さまたちの笑顔によって励まされるのです。病院という非日常の空間に、日常の空気をまとってきてくださる方たちがおられ、患者さまたちはほっとします。清拭用の小布をたくさん切ってください、いろいろな部署から来る注文の「繕い物」やカバー、クッションの作成に応じてくださる方たちがおられるので、きめ細かいケアができます。

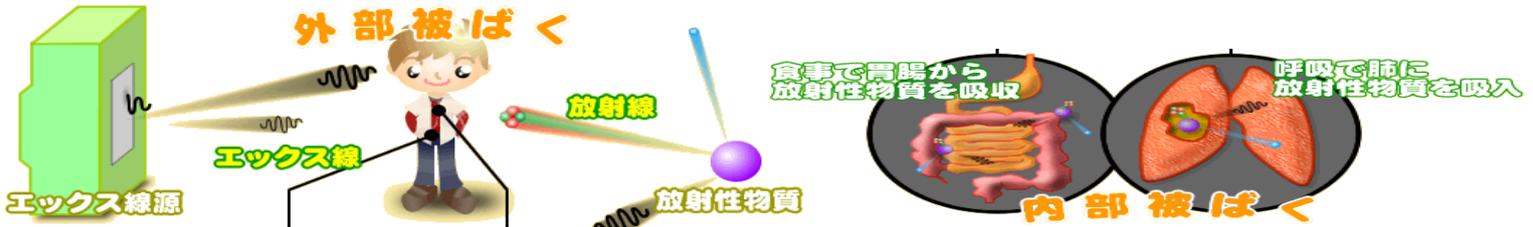
ボランティア活動が消えている時、これまでどれ程ボランティアの方たちに助けてきていただいたか、どれ程励まされていたかがよくわかりました。この応援によってこそベテル病院の本領が発揮されてきたように思います。どうか、なるべく早く以前のようにいきいきと多くのボランティアさんに関わっていただける時が来ますようにと祈っています。

(ボランティアコーディネーター 森 菊子)



被爆について

人が放射線を受けることを「被ばく」と言います。被ばくには、身体の外を飛んでくる放射線を受ける場合（外部被ばく）と、身体の中に入った放射性物質が放出する放射線を受ける場合（内部被ばく）があります。



食物に含まれる放射性物質は、飲食によって口から入り、一部が胃腸で吸収されて血液とともに体内の各組織へ送られます。空気中の放射性物質は、呼吸によって肺に入り、一部が肺に留まります。放射性物質は、各組織に蓄積した後に腎臓などから体外に出ます。蓄積のしやすさは、放射性物質の化学的性質や組織によって異なります。（図1）

各組織に蓄積した放射性物質から放射線が出て、体内から人体に当たります。

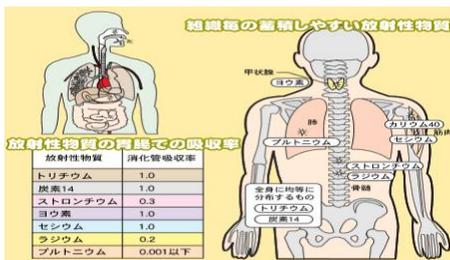


図1

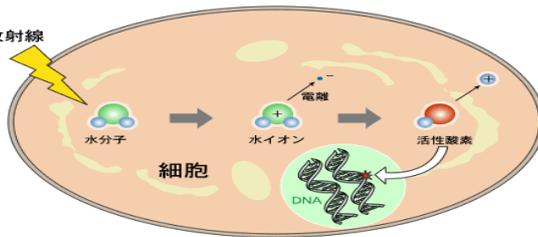


図2

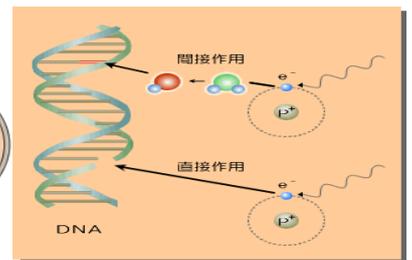


図3

放射線が人に当たった場合、体内では何が起きているのでしょうか？

放射線は人体に当たると、その細胞の中の分子に衝突し、分子から電子をはね飛ばします（電離）。電離した分子は化学変化し、はね飛ばされた電子は他の分子に化学変化を起こします。（図2）

放射線の人への影響は、主に細胞のDNA分子の一部が変化してできた傷が多く蓄積することによって現れます。放射線がDNA分子を変化させる仕組みについては、2種類あります。（図3）

- ・直接作用…放射線がDNAに直接衝突して変化させる。
- ・間接作用…放射線が水分子に衝突して活性酸素に変化させ、その活性酸素がDNAを変化させる。DNAの傷の大部分は、細胞内の酵素によって修復されます。修復されなかった細胞は、細胞死に至るか、または傷がDNAに残されます。
- ・細胞死の場合…少数の細胞が死んでも、その細胞が属していた臓器・組織の機能は正常に保たれます。

大量の放射線が短時間に人体に当たった場合には、臓器・組織の細胞の多くが死ぬため、脱毛、吐き気、白血球の一時的減少などの症状が表れます。

・DNAに傷が残る場合…DNAに傷が残った細胞は、その傷ががんの発生・進展に関連した遺伝子のDNAにある場合、傷がさらに蓄積されると、がん性の細胞に変化します。一方、がん性細胞の大部分は、免疫などによって、がんへの進展が抑制されています。



…原爆の被害者を「被爆者」と言いますが、通常、放射線を受けることを「被ばく（被曝）」と言います。

※掲載資料（公益社団法人放射線影響研究所 日米共同研究機関HPより抜粋）

（放射線課 井上 翔）

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

7月1日（水）、7月15日（水）、7月29日（水）

◎ 多田 聡 医師（神経内科）

7月9日（木）、7月20日（月）



◎ 大西医師不在のため月曜午後の漢方外来は当面休診となります。



ベテルの紫陽花

花ことば

✿ 寛容・謙虚 ✿



（ベテル第2駐車場にて撮影）

赤い蟹
走り梅雨にも
はさみふり

（二神 房子）

背も低く
小粒トマトや
高糖度

（平岡 恵風）

さくらの葉
すずめ二匹で
たわむれる

（節子）

夕映えの
一重のバラの
白さかな

（河田 和子）

ベ
テ
ル
旬
会



投句箱は受付・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
『ベテル通信』についてのご意見やご要望はご意見箱へお願いします。